

2016年3月20日 第519号 (隔月発行)

# アジアの友

The Asia-no Tomo

2-3

FEBRUARY-MARCH

2016

町田恵子先生 「日本語教師という仕事」  
キャサリン カリウキさん 「私の日本留学」



# 2015 年度最後の花金会を開催



2月5日（金）夜、アジア文化会館（ABK）のフロア学生と職員の交流会である花金会が開催されました。今回は2015年度最後の会で送別会を兼ねて開催。退寮するみなさんと最後の交流の一時楽しみました。みなさんABKとのつながりは変わらずに、新しい舞台で輝いてもらえればと期待しています。進学・卒業、おめでとうございます！ ※フロア学生：ABKの特別枠入館寮生



# アジアの友

2016年2・3月号 第519号

## 目次

	巻頭
2	ABK 日本語コース教務主任・副校長 町田恵子先生 「日本語教師という仕事」
	留学生に聞く
13	キャサリン カリウキさん（ケニア）「私の日本留学」
	ご報告
26	ABK-AOTS タイ同窓会設立 50 周年祝典 2016年2月19日（金）タイ・バンコクで開催される
	コラム
28	泰日工業大学 奮闘記（第16回） 「手作りコマ大戦」 吉田祐作
	私の意見私の体験
30	「留学生活は勇気を持って」 ファンフォン ワラリー（ヌン）～タイ
33	知友会通信
36	MEMBERS

<表紙写真>

モンバサ（ケニア）にある牙状のアーチを  
バックに記念撮影するキャサリンさん

ABK 日本語コース 教務主任・副校長 **町田恵子先生**

## 日本語教師という仕事



日本語教師というお仕事…わかるようでわからないというのが一般の方の本音ではないでしょうか。日本で生活をするほぼ全ての外国人が避けて通ることのできない日本語学習。特に進学を目指す留学生たちは限られた時間の中で高度な日本語を習得し、大学等の授業を受けなければなりません。教室で、キャンパスで、そして日常生活でいかに自然なコミュニケーションがとれるか、日本語教師が果たす役割はこの上なく重要なのです。

今回はアジア学生文化協会（ABK）日本語コース教務主任・副校長で、近々退任される予定の町田恵子先生に、日本語教師のやりがいと難しさ、これまで心がけてきたこと等について話を伺いました。日本語教師を目指す方、ボランティアとして日本語を教えている方、さらにはいま日本語教師として活躍されているみなさんのご参考になればと思います。

1989年4月中国残留孤児定住促進更生施設塩崎荘にて日本語教師生活をスタート。同年6月笹川医学奨学金制度事前日本語教育の為3か月間中国・長春に赴任。89年9月－92年9月日本外国語専門学校非常勤講師、92年6月笹川医学奨学金制度事前日本語教育の為3か月間2度目の中国・長春赴任。91年10月よりABK日本語コース非常勤講師、92年10月より同専任講師、2001年4月より同教務主任。2014年3月より副校長。

### ABKに入る前の日本語のキャリアは？

私が日本語を教え始めたのは1989年の4月です。中国残留孤児の方が日本に定住するための更生施設「塩崎荘」という所で教え始めたのが日本語教師としての第一歩でした。その後89年の6月から笹川医学奨学金制度の事前日本語教育のお仕事をい

ただき、中国の長春で3カ月教えました。89年の6月というのはちょうど天安門事件の時だったので本当に思い出深い経験でした。

ABKに初めてお世話になったのは91年の10月でした。面接の時にABKについてどう思いますかと聞かれて「ずいぶん古い建物ですね」と答えたのですが、そこにこんなに長いことお世話になるとは思いませんでした。ABKはその頃からずっと変わっていません。その後92年の10月から専任になり、2001年の4月から教務主任をさせていただいています。この間本当に楽しかったのであつという間でした。

## 日本語に進んだ経緯は？

大学は日本文学科の卒業なのですが、中国文学も履修できたんですね。それで大学の時に日中学院に2年通って中国語の勉強をして、卒論は中国文学をテーマに書いたんです。ですから中国語とはずっと付き合いがあり、たまたまある大学の市民講座で中国から来ていた先生に中国語を習ったのですが、その先生が北京では日本語の先生だったんですね。それで日本語教育というのを知って勉強してみようと思い東京外国語大学で日本語の教授法や言語学などを聴講しました。そして1986年に開催された第一回の日本語教育能力検定を受け合格しました。資格はとったのですが当時はまだ本格的な日本語教育がスタートしたばかりの時、教える場所もそんなにはありませんでした。

## 日本語教師になって一番大変だったことは？

大変なことというと、こちらにお世話になった時はまだ日本語教師として2～3年しか経験がなかったので、教えるのが下手なんですね。学生の質問に答えられないことも多く、5時間の授業のために10時間以上準備をしていました。だから家へ帰るとまず寝て、11時頃起き出して夜中ずっと準備をするということが3～4年は続きました。今考えるとどうやってそんなに時間を作っただろうと思うのですが、その頃は若かったですからね（笑）。でも家族には迷惑かけたかなと思います。

今でも5時間の授業をしようと思ったら2～3時間は準備にかかります。常に学生は変わるので、このクラスの学生には、どのようなアプローチで提示しようとか、どんな話題で盛り上げようとか、練習をうまくするにはどんな風に人を組み合わせたらいいとか、そういうイメージトレーニングをしないといけないので、やはり時間はかかります。

## 日本語教師として自立できたと思えたのはいつ？

正確にはわかりませんが、始めて5年くらい経った頃でしょうか。その時によって学生も違うし出てくる質問も違うので、今でも完全に答えられるようになったわけではありません。「そう来たか！」みたいなことは毎回あって、ドキッとするの



1997年度4月生と(1997年)

ですが、それが楽しいんですね。始めた頃はちゃんと説明できないと自己嫌悪に陥るのですが、最近はそれが楽しく感じられるようになった気がします。でも、今の目標は質問されない授業、授業の中で全部無理なく把握できて、練習できる授業なんですけどね。

## 日本語を教える楽しみ、喜びは？

私は初級を教えることが多いのですが、初級が自分としては一番楽しいですね。ゼロから始める学生、ひらがなもカタカナも全然知らないような学生が、昨日より今日、今日より明日ってどんどん上手になっていくんです。週1回しか授業に入っていない先生が、「先週と今週では学生が違う人のように見える」と言うくらい違ってきます。学生は頭の中は大人だし、それぞれ個性もあって考え方もしっかりしている人たちなので、日々の勉強を通して日増しに表現する力が付いていくというのを手応えとして感じられるのは、日本語教師として最

高の喜びかなと思います。だから準備も「楽しく、頑張れます」。

## 授業はどのように心掛けて臨む？

### 1. 学生が教師の一番の先生

よく若い先生たちには、学生が教師の一番の先生だと言うんですね。私たちはネイティブなので、どこがどう難しい

のか、どこで混乱するのかというのはイメージしにくい。それを学生からの質問で気付いて、じゃあそれを整理するにはどう説明しようかと考える。そして、次からはそこで混乱しない様なアプローチを工夫する。

教室で授業をしてみて、失敗したり成功したりというのはあるんです。お膳立てをして教室へ行ってもうまうまなかったり、逆にすごく盛り上がってどんどん積極的にやってくれたり。授業って生き物なので、同じことを20年教えていても毎回違うんです。「心は人と人の間にある」と言いますが、授業も先生と学生の間にあると思うんです。だから授業は先生だけでもできないし、もちろん学生だけでもできません。それが面白くて、あっと言う間にこんなに時間が経ってしまいました。

本当に ABK はいい学生が多くて、先生に対してもすごく協力してくれたんです。教え始めた頃、こちらがまだ不慣れで上手に教えられなかったりしても、「先生、大丈夫」みたいな感じで、うまく協力して

手伝ってやってくれるので、こちらも今日より明日はもっと上手に、ということを中心に考えてこられたのだと思います。

## 2. 楽しく勉強できる、自ら学びたいという気持ちを育むアプローチを

彼らには目標がありますから、それに向かって着実に力を付けていかなければならないのですが、楽しくなかったら勉強は出来ませんよね。ですから楽しく勉強できる、積極的に自分から学びたいという気持ちになってもらうためにはどういったアプローチが必要なのかということを常に考えています。一方的に教えていても彼らは盛り上がれない。授業が自己発現のチャンスになるような機会を作ってあげることが大切だと思っています。

また、基本的にABKの学生は高等教育を受けるための基礎となる日本語がわからないと困る人たちなので、文法もきちんと教えないといけないのですが、言葉をなぜ勉強するのかというと、コミュニケーションのためなんです。ですからクラス活動の良い点を生かして他の人の考え方を聞いたり、みんな協力して一つのことを作り上げていったりということを大切にしています。

## 3. 先生の個性が生きる授業の楽しさを

教師の何が楽しいのかというと、教室が教師にとっ

ても個性の発露、自己発現の場になっているということなんです。こういうアプローチを試みようとか、それで駄目だったとか良かったといった自分の創意工夫や学生への対応がそのままストレートに跳ね返ってくる楽しさがあります。

経験があまりない若い先生が、仮に教えるのがそれほど上手じゃないとしても、学生と仲間意識を持てるというのは素晴らしいことなんですね。自分にはもうできないことだから羨ましいと思うのですが、感覚的な共有部分が大きいので、そういう形で授業を作っている、学生がカバーしてくれる。ABKはマレーシアの学生が多いのですが、彼らは優しいです。国の中にいろんな民族がいて、その中でうまく調整をしていかないといけないということも知っていますから、その分人に優しくできる人が多いのかなと思います。その点でも私はABKで仕事ができてすごく幸せだと思っています。学生には本当に恵まれました。それは他の先生方もきっと思っていることだと思います。



日本語コースの夏祭りではこんな変装も（1998年）



頼れる仲間たちと（1999年）

## 日本語教師にとって外国語学習は役に立つ？

ほかの語学を自分が勉強することで、学生が出来ないことがわかるんですね。日本語だけに注目すると、どうしてこんなに簡単なことがわからないのかと思ってしまいますが、他の外国語を勉強してみると学生の大変な気持ちがわかるんです。私がタイ語を学んでいた時はタイ文字でつまづいたのですが、ひらがなを勉強するのってこれを勉強するくらい大変なんだろうなと思いました。すごく勉強して、今度こそ百点だと思んですけど、やはり一つか二つ間違えていて満点が取れない。

そういう悔しさや努力したのに報われないという気持ちは理解できますし、年齢とともにどんどん記憶力が衰えていくので、努力した分が結果として蓄積されないもどかしさもわかります。また、教えてくれている先生のアプローチも勉強になるんです

ね。それをやったらいけないだろうと思ったり、このやり方は取り入れられるかなと思ったり、教え方の面でも勉強になりました。

## 漢字圏と非漢字圏の学生を同時に教える難しさは？

漢字圏の人と非漢字圏の人に対する漢字の指導ではウェイトの置き方が全く

違ってきますから、一つのクラスの中でどうやってバランスをとっていかかというのが難しい所です。例えばあるクラスは半分がトルコの学生で、半分がマレーシアの中国系の学生や中国、台湾の学生なのですが、漢字圏の人にとっての漢字習得のポイントというのは、ある意味読み方なんですね。読み方が不正確だと、耳から聞いてそれが語彙として把握できない。それにどう対応するかというのが問題になるんです。

一方で非漢字圏の学生にとって、漢字は一つ一つが暗号みたいなものですよ。それをとにかく初級の間にある程度の数、把握しないといけない。そうでないと中級へ進んだ途端に落ちこぼれてしまいます。

初級までというのは割と会話中心で、語彙も日常生活レベルのことを学ぶので漢字がわからなくても授業で急にできなくなったりはしないんです。でも中級から先は漢字が持っている表意性を組み合わせる意味無限に語彙が作られていくので、漢字

の基礎がないとその語彙が全部わからなくなってしまい、読解も聴解も出来なくなります。だから非漢字圏の学生にはいつも恨まれながら、初級の間に750の漢字を覚えてもらっているんです。ある意味あり得ない数なんです、そこまでやっておくといけないN3レベルまでの漢字が終わることになるんですね。それくらいの漢字の下準備がないと中級の勉強には入れないんです。

一方で中国人学生は聴解が苦手な人が多いのですが、それは音を聞いた時にその言葉が日本語の言葉と一致してないからなんです。それはどういうことかという、初級の勉強の時に漢字を見て、音と結びつけずに意味だけ「分かる分かる」と来てしまっているからです。それを解決するためには初級の段階から漢字の読み方をちゃんと覚える。ひらがなでルビをふるなどして日本語の言葉としてちゃんと知っておかないと、耳から聞いて分からなくなってしまいます。

必要な部分が違う生徒を同じクラスで教える時にどうアプローチをするかといった所は大変ではありますね。先生方もそれぞれ工夫していらっしゃると思います。

## 「聞く、話す、読む、書く」 でどれが一番難しい？

基本的に「書く、話す」の表出は難しいと言われ、私も「話す」ことが一番難しいと思っていました。でも実は最近そうじゃないと思い始めています。

どういうことかと言うと、話す時には自分が知っている言葉、文法しか使わないんです。とりあえず自分が伝えたいことが言えればいいので、例えば郵便局で切手を買う時に「50円、いち(一)」でも通じちゃうわけなんです。

教室の中というのはコントロールされた世界なので、学生は話すのが一番難しいと思っているのですが、外に出て、実際に日本語を運用しようと思った時には、読み書きは時間をかけてすることができますが、聞いて話すというのは瞬時にそれをしなければいけなくて、しかも相手から何が来るかわからない状態で聞かなければならないということを考えると「聞くこと」が一番難しいのかなと今は思っています。

## 「聞き取り」に必要なことは？

聞き取るために、アウトラインで意図を掴むという練習も必要になってきています。昔の聴解の教材にはそういうものが少なく、コントロールされた語彙と文法の中で、



学生を連れて国際交流集会に参加(1999年)



学生たちに誕生日を祝ってもらいました（2001年）

全部勉強したことだから分かるでしょう、というような聴解が多かったのですが、実際には大掴みする、何が一番言いたいことを捉えろといったトレーニングがこれからは必要になってきます。

基礎的にきちんと把握する能力と、その中から大掴みに内容を把握する能力というのは読解でも聴解でも必要なんです。日本語学校はまだ基礎を固める段階なので、どうしても正確にきちんと、という方にウェイトが多くなるのですが、実生活の中でということになると、どうやって大掴みしていくかということになってきますから、大学生になる前にはそれが出来るようになっていないといけないわけです。

## 近年のアニメなどのクールジャパンの影響は？

語学の勉強ってそれに何年触れてきたかということが重要なので、どんな形でも日本語を聞いていたという環境を作っていれ

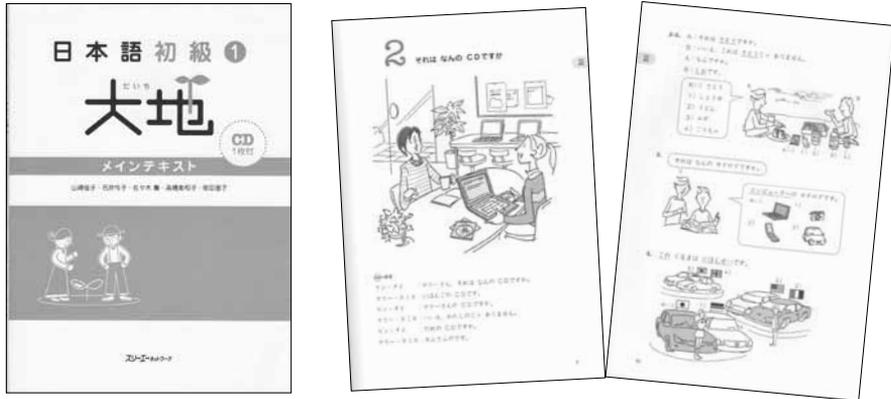
ば、それは将来的に自分の一つのスキルとして生きると思います。ですから最近の学生は聴解が上手だったりしますよね。昔は先生が教えたことしかわからないという学生が多かったのですが、今は海外で、母国でもいろいろな日本語環境に触られるので、そういう点では学生は変わってきています。それに合わせて教えるほうもその辺をうまく

活用していかないといけないのかなという雰囲気はあります。クールジャパン、凄いですよね。

## 『大地』はどんなテキスト？

とにかく文法的なことを教えながらしっかりコミュニケーションできる、自分の思っていることを自分で話せるようなチャンスを作りたいということを念頭に置いて作ったのが『大地』です。

他の先生方と5人で作ったのですが、これを作る以前は日本語教育は文法ベースで、文法を教えさえすればそれで先生の仕事は終わり、語彙を覚えるのは学生の責任という感じがありました。ですからその頃の日本語の先生というのは、文法知識をいかに自分の中に蓄えるかというのが最大の関心事だったんです。でも私の中にはそうじゃないはずだ、自分が思っていることを話せなかったらそれは勉強したことにならないじゃないか、という思いがあって、それが



『日本語初級 大地シリーズ』（著）町田恵子、山崎佳子、石井怜子、佐々木薫、高橋美知子  
（刊）スリーエーネットワーク（¥）2,800 + 税

出来るようになるための教科書を作りたいと思っていました。それを『大地』で実現しています。

子供が言葉を覚えるプロセスを疑似体験できるように帰納的なアプローチをしたいと思って作ったので、イラストがすごく多い。イラストってすごく便利なのは、それを見れば先生が何も説明しなくても、シチュエーションがわかるんですね。シチュエーションがわかると母語で何というかはわかるんです。だけど、それを日本語で表現しようと思ったら言葉も文法もわからないとその文を日本語で表出できない。だから日本語で表出するために必要なものとして文法や語彙がある。『大地』ではそういうアプローチの仕方をしています。

### 言葉と文化の関係は密接？

『大地』の中でも積極的に日本の文化的なものを話題として取り入れています。日本

語の勉強＝文法の勉強ではないので、文化的な背景無しでは使えないんですね。例えば「やり、もらい」というのは学生にとってすごく難しい表現なんです。私が初めて中国で教えた時、生徒に「先生はとてもよく教えました」と言われたんですが、「いつもはちゃんと教えられてないのか、今日やっと評価されたのか」ってすごく傷ついたんです。でもよく考えると、そこには文化的な違いがあって、中国語というのは元々すごく客観的な言語で「彼は私にあげました」といった表現が普通に使われるんです。事実を述べて感情表現が別に付くという、そういう形になっているので、「させられた」とか「してもらった」という形で、そこに感情が現れる表現というのは彼らには難しいわけです。一方でトルコ語にはそういう表現があるので、トルコ人にしたら全然難しくはない。つまりその言語が持つ文化だと思うのですが、それも一緒に教えていかなければならないわけです。

## 『TRY!』シリーズは どんなテキスト？

2011年3月の地震の後の学生が激減した時、このまま日本語教師としてやっていけるのだろうかとか誰もが不安に思っていたときに、先生方も時間的余裕があったので、これを作ることができたのですが、とても楽しかったです。それぞれの先生で文法的なことに対する考え方やアプローチといったものが違っていました。『TRY!』を作り始めるまでは教えるのはその先生の創意工夫の表れであって、共通するものを作ろうという意識はみなさん持っていなかったんですね。そこで一つの文型について様々な意見を出し合って、学生にとって何が必要なのかということ突き詰めてまとめていった本が『TRY!』なんです。

シリーズは日本語能力試験（JLPT）に合わせたN5からN1までの5冊、全部で25～26人の先生が関わりました。これができるのも、皆さんの協力のおかげですから、学生にも恵まれましたが、仲間にも恵まれたと感謝しています。

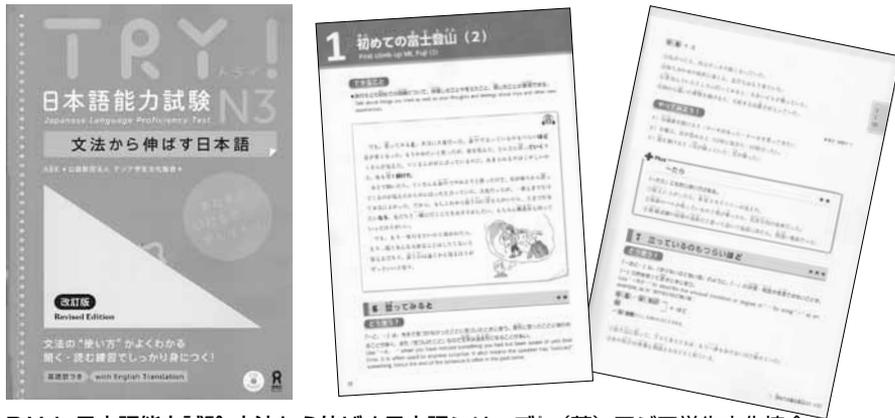
『TRY!』はどんな本かということ、一言で言えば、帰納的アプローチを取り入れたテキストだということです。『TRY!』には、章の初めに見本文があって、友達との会話、改まったスピーチ、ビジネス会話、募集広告などの実際に使われているシチュエーションが提示されているんです。それを見れば、こういうところで使われる表現なんだということが分かりますし、「こう

いう言い方は、母語ではこんな感じであるよね」って、気付けますよね。そういう帰納的なアプローチを目指しています。

『TRY!』は今、中国、台湾、タイ、ベトナムの4か国でも出版されていますが、海外で勉強する人にとっても、シチュエーションがわかるというのは、とても学びやすい本じゃないかと思います。初級の勉強が終わってN4、N5の試験を受けたいと思った時には『TRY!』で復習すればいいし、さらに上を目指すなら、『TRY! N3～N1』に取り組んで、一つずつ確実に勉強してもらえればと思います。

## JLPTは必須？

日本語を勉強している人はそれぞれニーズが異なります。海外で例えばN3を持っていれば良い会社に就職できるといったように、自分にとってニーズがあればぜひ受けたほうがいいのかなと思います。ただやみくもに上の級を目指す必要はなく、日本からの観光客とお店でちょっと楽しく会話をして品物を買ってもらえたらいいなことなら、N4まで勉強すればほとんど完璧に話は通じます。会社に勤めて日本語を使うということになったら、やはりN2まであったほうが安心して日本語で仕事ができるということになるので、そこは本人のニーズです。目標が決まっていればそれに向かってがんばれるけど、目標もないのに趣味でそんなに大変な勉強はなかなか出来ませんから、目標がある方がJLPTを目指すのはいいと思います。



『TRY! 日本語能力試験 文法から伸ばす日本語シリーズ』（著）アジア学生文化協会  
 （刊）アスク出版（¥）1,500+税（N5）、1,700+税（N4）（N3）、1,800+税（N2）（N1）

## 新教材の開発は？

今、どこの学校でもIT化というのが焦点になっています。私は今、パワーポイントによる教材作りをしています。イラストを見せて語彙の勉強をするので、学生はすごく覚えやすいと言いますね。

コミュニケーションのためにという意味で語彙の果たす役割が見直されるべきだと思うんです。もちろん専門分野に進んだら必要な語彙は自分で獲得していくしかないのですが、初級の段階では語彙を覚えることも教室活動の一環として位置づけて、それが使えるようになっていく達成感を味わってほしい。そういう思いで今私はパワーポイントの作業をしています。これだとモニターを見て覚えられますから、学生たちは慣れたスマホを操作しているような感覚で取り組みやすいと思います。また、クラスはチーム・ティーチングでやっていますから、誰が教えてもここは共通ですよと

いう部分がないと学生は混乱します。ですから教育の統一性、一貫性といったことも目指してこのパワーポイントの教材作成を、今最後の仕事だと思ってやっています。

また、同時にそれを使ったマニュアルも作っています。私が教え始めた頃はまだ文法を調べるのにすごく時間をかけていたのですが、今の若い先生たちにはそうした作業より、学生たちとコミュニケーションをする楽しさを味わってほしいと思うので、準備の部分はできるだけ簡素化して共通で使えるものは作っておこうと思っています。先生が楽しくなかったら学生が楽しいはずはありません。そのために使える時間をクラス内での活動だったり、個々の学生に対する配慮だったり、そういう方に向けてもらえればと思っています。

## 日本語教師に必要な要素は？

ABKで先生を採用する時に必要な要素と



2011年度修了式にて（2012年）

日本語教師は日本に来て最初に付き合う日本人ですから、日本に対する印象なども左右する存在になるかと思うんですね。その一方で大変な割に経済的には恵まれない仕事なんですけど、でも手応えはすごくあるんです。だからそれを楽しめる方だったら他のことは後からどうとでも育って行けると思うし、学生も手伝ってくれると思います。

して日本語に対する言語知識があるか、またはそれらをこれから学んでいく姿勢があるか、学生に対してちゃんと向き合っているか、学生に対してちゃんと向き合っているか、誠意・誠実さがあるか、他の先生と協力し合い助け合っているか、他の先生と協力し合い助け合っているか、そんな先生を希望して見てきたわけですが、最近それらに加えて柔軟性が必要かと思っています。学生もどんどん変わってきているので、それに合わせていけるか、たぶん寄り添って向き合っていれば変わっていくかざるを得ないと思うのですが、そう考えています。

ただし、これから日本語教師になろうと思っている方にいきなりそんなことを言ったらすごくハードルが高くなると思うので、まずは楽しんで欲しいです。教えることが楽しい、外国のことや違う文化を知ることが楽しい、相手に対して与えてあげられることがあることが楽しいといったふうに、好きで日本語教師を目指したいという気持ちが一番大切かなと思います。

## 今後の計画は？

しばらくゆっくり休みたいと思っています。今、ABKで教えられてよかったと思います。学生にも仲間にも恵まれました。先生方、私も含めてそれぞれ個性を持っている中で、お互いに学生のためにとか、上手に学生に教えたいとか、そういったところで一緒にがんばれる仲間がいたというのが本当に幸せだったと思います。

全力投球できたし、それが出来る環境だったというのはすごく嬉しいことですね。学生が一生懸命についてきてくれるから、自分も全力投球が出来たんだと思います。でも走り続けて疲れたので、休みたいというのが現在の心境です。と言ってもまだ、パワーポイントの教材も完成させなければならぬし、「TRY!」の教師用ガイド作りなどが残っているので、完全休養はできないのですが、マイペースでゆっくり歩きたいと思っています。

留学生に聞く

## キャサリン・カリウキさん

Ms. Catherine KARIUKI ~ Kenya

東京大学大学院 工学研究科 社会基盤学専攻修士課程

私の日本留学



My Studying in Japan

### 日本留学と東京大学

—— 自己紹介をお願いしますか。

私は、ケニアから来ました。3人兄弟で私には弟と妹がいます。私の故郷はナイロビの北300kmのところにあるナンユキ(Nanyuki)という町で、実家は今もそこにあります。日本に来る前、ナイロビ大学の

土木工学科を卒業してからケニアで2年仕事をしていました。仕事は建設会社で、主に石油供給関連企業の設備のデザインや監督等の業務に係っていました。

—— 留学の希望はいつ頃から持ち、また留学先はどのように選びましたか。

ナイロビ大学在学中に留学したいと思い、奨学金を探し始めました。そして、イ



赤道直下の町・ナンユキ

ギリス、ニュージーランド、日本、台湾の奨学金を申請しイギリス以外は全て受かりました。

ケニアで留学と言えばイギリスかアメリカが一般的ですが、私はアメリカには行きたくありませんでした。最近のケニアはアメリカ文化の影響を強く受けていますし、留学するならもっと特色ある文化の国に行きたいと考えていたんです。留学終了時に人としても成長していきたい、文化的にも影響を受けて人生を豊かにしたいと思っていました。それで出来れば東方に行きいと思っていて、日本、台湾、ニュージーランドの奨学金を申請したんです。もしこの奨学金が全て駄目だったら、韓国や中国へ行くことを考えたと思いますが、私は日本がアジアのリーダーだと考えていましたし、アニメを始めとした日本の文化にとっても惹かれていたので日本に行きたいと思っていました。

—— 留学先にどのようにして東大を選びましたか。

日本の文部科学省（文科省）の奨学生の募集については新聞で知りました。そして応募し、面接し大使館推薦で文科省奨学生として受かりました。受かると大学院生の場合は、まず日本の大学の教授に受入の許可をもらわなければならないので、ケニアから日本の大学に申請する必要があります。それも2か月以内に探さなければなりません。大使館から日本の大学についての資料はもらいましたが、適切などころを探すのは

大変です。ただ、幸運にも名古屋大学に留学していた先輩が一時帰国していたので、彼から色々情報を聞くことができました。彼は東大、京都大、阪大、北海道大が日本で有名な大学だと言いましたが、私はそれらの大学は大使館の人から難しいと言われていたので、そう言ったら、トライする価値はあると言われたんです。

また、ケニアの大学に京都大に留学し、奥さんが日本人の教授がいます。彼は京都大で日本語で授業を受け大変だったので、私に英語コースを探すことを勧めました。そして英語コースのある東大、東工大、東北大、北大、そして長崎大に連絡を入れました。ただ長崎大は日本のクリスチアンの歴史について興味があり、それで申請しました。幸運にも東大の教授から受け入れの返事が来たのでとてもびっくりしました。みなさんから大変難しいと言われてましたから本当に驚きました。この年のケニアからの日本政府（文科省）の奨学生は男女各2名で4名です。私のほかは、金沢大学、

千葉大学、九州大学の大学院でそれぞれ、コンピューター、建築、化学を専攻しています。

—— プレゼンテーションが良かったこと、先生がアフリカに興味を持っていたのかも知れませんね。

教授は10年前にウガンダの学生を受け入れたそうですが、その学生がとても良い生徒だったので、あなたもきっと良い学生だろうと言っていました。とてもラッキーでした。

—— 初めての留学、初めての日本の大学ということで、不安はありませんでしたか。

東大の土木工学科にはケニア出身の先輩はいませんでした。日本の大学がとてもシステム化していたおかげで、不安を感じることはありませんでした。

ただあまりにシステム化し過ぎているように思うこともあります。大学入学時のオリエンテーションでガイドブックが渡され、もし何かしたい時はそれを見れば必ず詳細に書かれているのですが、ガイドブックは分厚く様々な情報がありすぎて混乱してしまい、あまり使いませんでした。私にはチューターがいていろいろサポートしてくれたのですが、そのシステムの方が役立ちました。

—— 来日前は日本の大学に対してどのようなイメージを持っていましたか。

正直に告白すると、あまり日本の大学に対する具体的なイメージはありませんでした。どこの大学も同じだと思っていたので。でも実際は大

変違いましたね。

—— 日本の大学とケニアの大学の違いはどんなところですか。

ケニアの大学は、出席しなくてもテストに合格すればいいのですが、日本の大学は、出席しなければいけません。たとえ授業中寝ていてもです(笑)。日本に来てびっくりしたのは、日本の学生はクラスに来て鞆を置いたら寝ます(笑)。

ケニアは授業の30%を欠席しても大丈夫ですが、テストに合格しなければなりません。そして、与えられた課題、宿題を全てこなさなければなりません。

日本の研究、コミュニケーション、文化について、私は満足しています。日本の大学院生はとてもまじめに研究に取り組みます。例えば、プレゼンテーションはケニアではそれほど重要なものとして捉えられてなかったのですが、日本の学生はみんなまじめに取り組むので、認識が改まりました。

ケニアの私の研究室には2人の先生と6人の学生がいましたが、プレゼンテーシ



自宅で開いた大学卒業パーティーでご両親と



ひな祭り 着物を着て

ンでパワーポイントを使う必要はありませんでした。口頭で説明し数枚の写真を用意する程度でした。でも日本ではみんなパワーポイントを上手に使ってプレゼンテーションをしています。こうしたテクニックを学べたことはとても良い勉強になりました。

修士課程の試験では自分の専門分野の先生だけではなく他の分野の先生も加わり、しかも10分間に説明しないといけないんです。これはとても緊張しましたが、貴重な経験でした。ケニアでは同じ専門分野の先生がテストをしますが、日本は違う分野の先生がテストをするので、とても簡略化して分かりやすい説明をしなければなりません。

博士課程の入学試験は委員会があり、他の大学から専門分野の先生が来ました。ですから、簡略化して説明する必要はなく、

そういう意味では修士課程よりも簡単でした。こうしたところがケニアと日本の大学の大きな違いだと思います。最初はとても驚きましたが、この経験は本当に重要な経験だったと思います。なぜなら、私がケニアで働いていた時にHR（ヒューマンリソース）、マーケティング、セールス、会計など管理部門の人たちは、オペレーション、エンジニア部門の私達のことを理解してくれず、いつも対立していました。例えば、私たちはある備品を買いましたが、会計の人はこんな物は重要じゃないと。それは私たちオペレーション側、研究者側にとってはとても重要な物なのですが、結局彼らにそれを理解させることはできませんでした。ですから、日本の修士課程で学んだ、異分野の人に対するプレゼンテーションの方法はとても重要だと思っています。

—— 同じ研究室に学ぶ日本人とケニア人の違うところはどんなところですか。

日本人は質問したことだけしか答えてくれないので、知りたいことは細部に亘って質問しなければなりません。ケニア人は何か質問すると、いろいろそれに関連したことを教えてくれます。ですから私は始めの頃は研究室の人にたくさん質問をしました。もし私が何も聞かなかつたら、誰も何も教えてくれなかったと思います。そのことをまず最初に学ばなければいけませんでした。

ケニア人の場合は少し聞けばたくさんの答えが返ってくるんですね。例えば「どこで買えますか?」と聞くと「ここここここで買えるけど、こっちの方が安いよ」といっ

た感じですか。日本人の答えはもうちょっとシンプルですね。

—— 英語のコースということですが、研究室には何人学生がいますか。

学生は32人いて、そのうち日本人学生は9人でみんな上手に英語を話します。金曜日には日本人学生の家でパーティーをしたりと仲が良いです。また研究室の中には小さいグループもあり、そこでもパーティーをしたり仲が良いです。

—— 日本の大学の研究レベルについてどう思いますか。

とても高いと思いますし、たくさんの方が学んでいます。ただ個人的にちょっと残念なのは、博士課程になると私の研究室が本郷キャンパスから離れてしまうことです。本郷キャンパスには、たくさんの方があって、たくさんの方の英語のクラスがあります。私は本郷キャンパスでたくさん他の学部の授業に参加しました。公共政策、社会政策等のクラスにも出席することができました。単位を取るわけではないので、興味のある授業にたくさん出席しました。そのおかげでたくさんの方のことを勉強できました。東大は英語のクラスも増やしてきていますし、本当に良い大学だと思います。

—— ケニアの学生は、留学先として日本に興味を持っていますか。

日本を留学先として考える人はほとんどいないと思います。まず情報がないということと、日本に来られる機会があまりないというのが大きいと思います。奨学金もあまりなく、限られた方法でしか来られませ



ケニア山に登山

ん。言語の問題、物価の問題も大きいですが、同じような問題があってもドイツは人気があります。ベルギーもドイツも、学費がすべて無料で教育費として1年にかかるのは50ユーロ（約6,000円）だけですから、私の友達はドイツの大学の英語コースで学んでいます。家賃は家族が出し、生活費はアルバイトで賄っているそうです。ですから、イギリス以外のヨーロッパも人気があります。

—— 今後ケニアから日本に留学する人は増えると思いますか。

限られますね。日本に来ているアフリカの留学生は、奨学金を取得して来ている人たちだけです。そうした機会がもっと増えれば、ケニアの学生を含めもっとたくさんの方のアフリカ人留学生が日本に来ると思います。

—— 日本とアフリカの関係は、徐々に緊密になってきているように思いますが。

日本とケニアの関係はとてもいいと思います。ケニア以外のアフリカの国と比べて

ら、日本はケニアでたくさんのことをしてきています。私の故郷は、マウントケニア国立公園をはじめたくさん国立公園がありサバンナや疎林があります。そこにたくさん日本人ボランティアがいて、現地スタッフに対して研修、訓練等をしています。ケニア政府は、毎年いろんな省庁や部署等へ賞を出していますが、毎年日本の国際協力機構（JICA）は賞をとっています。最近では、トヨタの組み立て工場もあります。

### ケニアの教育制度と学生生活

—— 東大では土木工学を専攻されていますが、高原地帯の多いケニアにとって水はとても重要ですね。そうした理由で土木工学を勉強しているのでしょうか。

それは一つの理由ではあります。土木工学に進む前はコンピューターエンジニアも考えました。私の少し前の世代まで、高校卒業後女性も2年間兵役に行かなければなりません。兵役が廃止され

ると同時に大学の制度も変わりましたが、それでも高校卒業から大学入学まで1年半の待機期間があります。そのため私は高校卒業後、資格の取れる1年半のITコースに入り、コンピューター・プログラミングの授業を受けましたが、好きでないことがわかり、大学の専門を変えました。私はシティープランニングとか建物が大好きでしたが、絵を描くのはあまり得意でなかったのも、建築には進まず土木工学を選んだんです。

—— ケニアの教育システムについて簡単に説明して頂けますか。

ケニアの教育システムは、8年（初等教育）、4年（中等教育）、4年（高等教育）が一般的ですが、医師やエンジニアなどの専門分野は5年間大学へ通います。そして、学校の開講時期は、小学校、高校は1月に始まり大学は9月からです。

—— 現在、ケニアでは何%くらいの人が大学に進学していますか。

私の時代は義務教育が無かったので、たくさんの子供たちが学校には行ってませんでした。今は100%に近い子供が小学校に通い、高校は70%くらいかな、大学は30%くらいかな、進学していると思います。小学校は2003年に無償化し、2010年に義務教育になり、高校は2008年より義務教育になりました。また、高校卒業後に入る職業訓練学校があり、様々な分野の事が実践的に学べるので、大学に行かずこちらに進む人多くいます。

ケニアの国立大学の学生には学費の



日本で出会った友人たちと

80%が国から支給されます。私の時には年間の学費は約3万円でした。大学に受かれば、卒業まではスムーズに進めます。貧しい家庭の人でも年利1%の学生ローンがあるので生活費に困ることはありません。ただ私が大学生だった頃は、大学は国立が5校、私立が3校しかなく、大学に行きたくても入れない人がたくさんいました。今は国立大学が15校以上あり、入学希望者の50%の人が大学に入れるようになりました。ケニアの経済は15年ほど前からよくなり、発展してきています。

\* *Statistical Abstract 2014, Kenya National Bureau of Statistics* によると2013年の初等教育、中等教育、高等教育(学部生)の登録者数は、10,182,555人、2,104,262人、240,711人(公立大学)、8,648人(私立大学)。また、中等教育卒業後行く技術・職業訓練・起業育成(TIVET: Technical, industrial vocational and entrepreneurship training)の専門学校の登録者数は、148,009人

\*なお、次の教育段階に進むには国家統一試験に合格する必要がある。高等教育への進学に必要な統一試験は中等教育修了試験(KCSE: Kenya Certificate of Secondary Education)と呼ばれる試験がある

\*1ケニア・シリング(KES/Ksh) = 約1.2円、US\$1 = 約86.5Ksh (2014年3月)

—— ケニアは他のアフリカ諸国と比べて教育のレベルは高いですか。

はい。ケニアは他のアフリカの国と比べ教育普及率が高いです。私の卒業したナイ



キャサリンさんが通っていた高校

ロビ大学は、アフリカで5番目のレベルの大学です。世界ランキングでは600位でとても高い教育レベルです。

アパルトヘイト時代、白人は南アフリカを発展させアメリカのような国を作りました。今は少し経済的には落ちていますが、ダイヤモンドや金などの資源がたくさんあります。白人は約30%いますが、みんな高等教育を受けています。黒人は白人のような教育は受けていませんでしたが、アパルトヘイト時代が終わり、みんなが教育を受けられるようになり、現在の大学には黒人の教授もいますが、大学で教えているのはケニア人も多いと聞いています。以前はほとんど白人ばかりでしたが、今は黒人も白人も一緒に学んでいます。

—— ケニアの学生はよく勉強をしますか。

高校ではたくさん勉強をします。学歴社会、競争社会で、国立大学に行くのはとても大変ですから、みんな必死で勉強をしています。私が高校生の際は、朝早くから夜遅くまで勉強しており、一日4、5時間し

か寝ませんでした。大学でもテスト前は、みんなすごく勉強します。グループディスカッションもたくさんします。

ケニアの大学は、朝8時45分に始まり夕方5時頃終わります。その後私たちはリラックスするため、ご飯を食べに行ったり、ゲームをしたり、映画を見たりします。そうして少し休んでから図書館へ行き、10時までそれぞれ勉強して、10時から深夜までディスカッションするんです。私は高校、大学と学校の寮に住んでいたのですが、友達と一緒に過ごす時間が長くみんなとすごく仲良くなり、楽しい学生時代を過ごしました。

## ケニアの文化と人々の生活

—— キャサリンさんは日本のアニメに惹かれていたとのことですが、ケニアでは日本のアニメは有名ですか？

アメリカのアニメに比べてそれほど普及していませんが最近徐々に人気が出て来ています。一番有名なのは『NARUTO』ですね。私も『NARUTO』は好きですが2番目で、一番好きなのは『るろうに剣心』です(笑)。

—— それらは英語に翻訳されてテレビで放送されていますか？

はい。漫画の方も人気があります。私は『るろうに剣心』からたくさんの影響を受け、日本に来る前に日本の歴史や文化についてインターネットなどで調べました。それで実は日本に来るまで『るろうに剣心』は、本当の物語だと思っていたんです。な

ぜなら、物語の中に実在するものがたくさん登場するからです。京都や長崎、東京の浅草寺、増上寺、利根川…。ですから、博物館に行けば『るろうに剣心』に関する展示があると思っていたのですが、こちらへ来てフィクションだと知って残念です。でも、主人公の緋村剣心にはとても影響を受けました。彼みたいになれたらいいなと思っています。もちろん『NARUTO』からも学ぶことがたくさんあります。ナルトはどんな悪い状況でも諦めず、常に愛する人を守ります。主人公のナルトだけでなく、全てのキャラクターの個性が違い、彼らからはいつも何かを教えてもらっていました。

アニメで知る日本人とケニア人のキャラクターはとても違います。ケニア人は、みんな母国の文化を忘れつつあります。例えば若い人たちはアフリカの言語を学びません。事実私の弟と妹は、アフリカの言語(スワヒリ語)が話せません。私たちが注意しなければ、いつかアフリカの言語は消えてしまうかもしれません。私は話せますし読むこともできますが、書くのはとても時間がかかります。

—— ケニアにはたくさんの部族、種族又、言語がありますが、どの言語がメインの言語ですか。

公式言語は、英語とスワヒリ語です。スワヒリ語は、アフリカの東部の言葉で、コンゴ、ウガンダ、タンザニアの公式言語はスワヒリ語だけで英語は使いません。そしてケニアには42種族がいて、それぞれの言語を持っています。私は、キクユ族といっ

てケニアで一番大きな種族です。それぞれの種族は言語だけでなく文化や生活スタイルも違います。例えばキクユは農業が主ですが、マサイはハンティングや牧畜がメインです。性格や肌の色も異なり、キクユ、マサイは肌の色が薄いです。容姿も異なっていてキクユは小さめですし、マサイはとても背が高いです。

—— キクユ族は、紅茶を生産していますか。

紅茶とコーヒーですが主にコーヒーです。紅茶は、他の場所の方がいいものを生産しています。コーヒーはケニアではナンバーワンで、ケニア産コーヒーの80%を生産しています。

—— ケニアには水資源の問題はありますか。

私のホームタウンのナンユキは、ケニア山の麓にありますから水の問題はありません。私たちキクユ族は、農業を営むために水がたくさん必要です。水は様々な川から持ってきて使っています。一方、川から離れたところに住んでいる種族の人たちは、キクユが川の水を全て使っていると思って対立が起きた歴史があります。

マサイ族は料理の為に動物の血をよく使います。動物の血と牛乳を混ぜて飲むのですが、それは食文化であって水不足だからではありません。またある部族は血と炭を使って特殊なヨーグルトを作ります。具体的にどうやって作るのかはわかりませんが、それも水不足とは関係なく伝統的な食べ方として作っています。有名なマラソン



調査で訪れた村で部族の方と

ランナーは、その地域の出身の人が多いです。彼らはヨーグルトを作る為の特殊な伝統的容器を使っています。キクユ族は動物の血は飲みませんが、ドイツ人などと同様に料理としてソーセージなどに使います。

—— 大変基本的な質問ですが、ケニアの主食は何ですか。

私たちの種族の主食はイギリス人と同じでポテトです。パンプキンや野菜シチューなどと一緒に食べます。ただ一般にはケニアの主食は、メイズ（とうもろこし）です。白くて甘くなく、つぶして小麦と混ぜて蒸します。そして野菜などと一緒に食べます。これはウガリと言って、一般的な主食です。私はキクユ出身なので週3日がウガリで残りはポテトですが、家庭によっては毎日ウガリを食べています。食文化は色々な種族の影響が大きく、また、最近は変化しています。

—— ケニアの季節について教えてください。

1、2、3月が乾季で、3、4、5、6月が雨



国境を警備する村人と

季ですが、この時期はかなりの雨量になります。そして7、8、9月がまた乾季で、10、11、12月がまた雨季になります。ただしこの時期の雨は少ないです。ケニアには赤道が通っていますから日本と季節が逆で、最も寒いのは8月です。でも、寒いとは言っても20～15℃位でしょうか。私のホームタウンはケニア山に近いのでとても寒く昨年は雪も降り、道が全部雪で覆われました。雪は時々降りますがとても少ないです。朝起きて雪が積もっていたことがあります。1時間で溶けてしまう程度です。でも昨年は完全に道が雪で覆われるほど積もったようです。年々寒くなっていて気候の変化に驚いています。私のホームタウンは赤道の南に当たるので、実は太陽の位置は北にあります。

—— アフリカでは宗教的な対立がみうけられますが、ケニアではどうですか。

ケニアには2大宗教があります。キリスト教（カトリックとプロテスタント）が約

70%で、イスラム教（ムスリム）が約30%です。宗教間の争いはありませんが、近年隣国ソマリアの問題がケニアに持ち込まれてきており、一度は大学を襲撃し、キリスト教徒を殺害しました。また最近では2か月前に他の襲撃がありました。彼らは、バスを止め誰がイスラム教徒で誰がキリスト教徒かと聞き、バスの中で分かれるように命令しましたが、みんながイスラム教徒だと答えました。ケニアのイスラム教徒がクリスチャン

を守り、おかげで誰も殺されずにすんだんです。ケニア人は宗教のことはあまり関係なく仲良くやっていますが、このような隣国ソマリアとの問題があります。

### 日本生活とケニアの将来

—— 日本での生活はいかがですか。

私は日本での生活が好きです。来日当初は東大の駒場寮に住んでいてそこでたくさん外国からの友達を作りました。また同じフロアにアフリカ出身の学生がいて私たちはとても良い友達になりました。みんな違う専攻ですが、同じビルの研究室にいるので、一緒にお昼を食べたり帰ったりしていました。

ただし、日本に来た最初の年は少し大変でした。気候がケニアとはかなり違うため風邪をひいてしまいましたし、宿舎から大学まで電車の乗り換えが3回あり朝のラッ

シュアワーも大変でした。また地下の研究室では外の空気が吸えず、気が減入ってしまうこともありました。でもアジア文化会館（ABK）に住みはじめて今は毎日歩いて学校に通っているの、とてもハッピーです。自然に恵まれたケニアで育った私は、毎日新鮮な空気に触れることで、幸せな気分になれるし、大好きな土も見れます。農業の盛んな地域で育ったせいか、いつも気が付くと土を探しているんですね。

—— 日本で旅行はしましたか。

旅行したいのですが、お金がありません（笑）。行くとしたら京都や大阪のような有名どころではなく青森や静岡などに行きたいです。あまり都会化していないところで日本人の日常の生活が見られるような旅をしたいと思います。今まではホストファミリーのいる新潟や、仙台、岩手に行きました。私のケニアの友達が秋田で働いて、今、彼女が私を招待してくれています。福岡にもケニアの友達がいるのでそこにも行きたいですし、長崎にも行きたいですね。



高層ビルと新幹線をバックに

長崎には、日本のクリスチアンの歴史がありますから、長崎のクリスチアンに会うというのが私の1つの夢です。京都、大阪は、最後にとっておきます。

—— 新潟にホストファミリーがいるんですか。

新潟のファミリーは農家でとてもいい関係で、学校が休みの時はいつでも来なさいと言ってくれます。もう家族みたいでとても特別な存在です。新潟は、本当に自然が多く、人工的な東京とは異なり実態があります。夏と冬に行きましたが、夏は新鮮な果物が毎日とれ、冬は田んぼが雪で覆われていてとても奇麗でした。仙台も自然と街の調和が素晴らしく、ナイロビにいたような感覚でした。東京はとても特別な所で今まで想像したこともなかった都会です。

—— 東京は便利でしょう？

はい。私は東京も好きです。とてもユニークな街だと思います。こんな便利な街は、世界中どこにもないのではないのでしょうか。

—— 早起きだと聞いてますが、それは宗教的なことからですか。

私の子供の頃、「遅く起きる子にはお皿の上に何にもない。働かなければ、食べるな〜♪」という子どもに聞かせる歌がありました。私のお母さんは「もし朝遅く起きたらたくさん損をする（何もない）、だから、早起きしなきゃいけない」といつも言っていました。それで日の出（6時）前に毎日起きるのが習慣でした。



東京マラソンでケニア人選手を応援

ケニアは一年中6時に日の出なので、日の出前に起きていたのですが、日本では季節によっては4時に日が昇ってしまうので、さすがにそれに合わせることはできません。ですから来日して最初の年は日の出後に起きる事に罪悪感を持ち、本当に辛かったです。母の声が聞こえました(笑)。でも今は日本時間に適応しています。

——日本で食べた料理では何が好きですか。

鍋料理です。何でも好きですが、今は豚肉の鍋が好きです。あと、キムチ鍋を作ります。キムチは辛くて酸っぱくて、とても特別な食べ物です。とても奥深い味がします。ですから何の料理にもキムチを入れるんです(笑)。

あと、寿司も好きです。新潟に行った時においしい寿司を食べました。そして、マグロを解体するところを見ました。その寿司職人さんは英語が得意で、今はアメリカにいます。

——東京とナイロビの生活の中で感じる違いはどんなところですか。

東京はとても交通の便がいいですね。ナイロビは朝晩の交通渋滞ひどいです。ですから朝の渋滞を避けるため5時に家を出て6時にオフィスに行く人もいます。

それから東京は治安もすごくいいです。私はパソコンを持って渋谷から本郷まで通学していましたが、もしナイロビだったら絶対に盗まれています。ケニアでは常に強盗の心配があり治安がよくありません。安全

な日本にいと私はだんだん帰るのが怖くなってきます。

——ケニアでは銃は禁止されてますか。

はい。でもソマリアなどケニアの隣国は銃を簡単に手に入れることができ、長い間ケニアと対立しています。今、ケニアは徐々に経済が発展し、お金が入り、銃も手に入るようになってきました。その結果、携帯電話を盗むのにも銃が使われるようになり大変危険な状態です。昔は銀行の前に銃を持っている警備員がいたくらいですが、今は携帯電話を盗むためだけに銃を使う人がいます。そして時々間違っって人を殺してしまうこともあります。とても怖いです。

ケニアの女性教授にどうしてそんなに長く日本にいるのかと聞かれたので、日本の安全性と便利さについて説明しました。彼女に深夜歩いて帰ることを言ったらとても驚いていました。ケニアでは絶対にできないことですから。

また東京の物価は確かに高いですが、100円ショップもあるし、お金持ちでもなく、貧しくもなく生きていけます。生活水準が

高いです。ケニア人の生活水準は徐々に良くなっていますが、まだお金持ちでないと便利な生活はできません。

—— 来日の目的通り日本に来ていろいろ学んでいますか。

はい。日本に来る前、モンゴルは歴史に登場する国というだけで、現存しないと思っていましたが、ABKで3人のモンゴル人学生に会ってびっくりしました。それから大学ではキルギスの人にも会いました。食堂で様々な国の女子だけでご飯を食べたのですが、話している内容はガールズトークで世界共通でした(笑)。みんな、アメリカ人はこうだとかアフリカ人はこうだと思っているけれど、同じ事や似ている事がたくさんあるということがわかって嬉しいです。

—— この4月から博士過程に進みますが、その後はどんな計画をお持ちですか。

現時点では、ケニアに帰って仕事したいと思っています。でも、私はどんどん日本のことが好きになっていますから、このまま日本に残る可能性もあります。

—— 日本での経験を通して、今後ケニアがどんな国を目指したらよいと思っていますか。

私はケニアが日本やドイツのように発展と伝統を両立させられるような国になって欲しいと思っています。技術や経済の発展だけでなく、人間性、文化面でも日本やドイツのような国になって欲しい。私たちも素晴らしい文化を持っていますが、もう少し社会の発展が必要です。ですけどその過程でケニア独特の文化や人間性も残せれば

と思っています。

—— People make a society = 人間が社会を作る、ですね。

たくさんのケニア人がアメリカに勉強に行きますが、帰国後自己中心的な性格が変わってしまうので、私は彼らの事が好きではありませんでした。彼らは、アメリカに行った自分は偉いと思っているんです。アメリカの方が重要だと思っています。逆に日本へ行った留学生はとても礼儀正しくなって帰ってきます。日本から帰国したある女子留學生が銀行で手続きを終えた後、もう一つ用事を思い出し、もう一度銀行の受付へ行くと、時間がかかると言われました。こうした時、普通のケニア人だったら怒るところですが、彼女は怒りもせずただ待ち続けました。彼女のこうした行動にみんな驚いたのですが、日本では普通のことですよ。私はケニアの人にこんな風になって欲しいと思っています。

私は、日本に来て本当に良かったです。たくさんの考え方が変わりました。ケニアに帰ってもこの気持ちを持ち続けたいです。「モットイナイ」のマータイさんもケニアの人ですが、同じことを言っていました。私だけでなく、他の人も同じ様に日本のことを思っていると思います。

—— 4月から博士課程1年ですね。専門の土木工学の勉強を進める一方、時には好きな登山をしたり、旅行をしたりしながらより日本の深いところ、良いところを探す時間もつくり、より充実した時間を過ごしてください。本日はありがとうございました。

# ABK - AOTS タイ同窓会設立 50 周年祝典

2016年2月19日（金） タイ・バンコクで開催される

The 50th Founding Anniversary of ABK-AOTS Alumni Association of Thailand  
 “50th Anniversary Celebration ; Vivid Memorable Past & Smart Bright Future”

タイ同窓会（ABK Alumni Association of Thailand。その後、ABK-AOTS Alumni Association of Thailand と名称変更）の設立 50 周年祝典が、2月19日夕刻より、タイ・バンコクのタイ・アーミー・クラブ（ヴィパワディ通り）で開催された。会場は会員とゲスト約 300 名の出席者でいっぱいとなった。海外からは、HIDA（一般財団法人海外産業人材育成協会；AOTS と JODC が 2012 年 3 月 30 日併合した財団）の金子理事長と当財団（以降 ABK）からは小木曾理事長代理として布施常務理事が参加したほか、近隣諸国の HIDA 同窓会代表が 10 名ほど参加していた（フィリピン 2 名、マレーシア 2 名、ミャンマー 2 名、ヴェトナム 1 名、シンガポール 1 名）。また、Mrs. Kobkarn Watanawarankul 観光スポーツ大臣（元 AOTS 研修生）、在タイ日本大使館坪井一等書記官、保住 JETRO バンコク所長、HIDA 職員・関係者多数がゲストとして参加した。

式典は、国民的詩人 Mr. Naovarath

Pongpaiboon の詩の朗読と竹笛の共演で始まり、Mrs.Somsri 同窓会会長の挨拶、特別ゲストの Mrs.Kobakarn 観光スポーツ大臣及び金子 HIDA 理事長の祝辞、布施 ABK 常務理事の小木曾理事長祝辞代読、そして坪井一等書記官による祝杯の後、今回の式典のテーマ「Vivid Memorable Past & Smart Bright Future；栄光の過去とスマートな明るい未来」のビデオ上映、タイ舞踊と楽器演奏のタイ・カルチャー・ショー、そして最後に日本

の「今日の日はさようなら」を全員で合掌し、閉会した。

今回は、会場の都合で会員への呼びかけを制限したということもあってか、残念ながら古参の同

窓会関係者及び元留学生の出席者が大変少なかったことは少々残念だった。ただ、かつての ABK 同窓会研修生の TOT（タイ電電公社）エンジニア（NEC で研修）4～5 名が会場に現れ、35 年振りの嬉しい対面もあった。

タイ同窓会は、1964 年にアジア文化会館（ABK）でアジア文化会館同窓会発会式が挙行された後、比較的早い時期に設立されて



いる。設立当初は、集まる場所もなく役員はいても十分な活動ができなかったようだが、穂積五一 AOTS 初代理事長（ABK 創設者、ABK 同窓会会長）が、1970年10月に AOTS 職員富永氏をタイに派遣し、AOTS バンコク事務所を開設してからは、そこを同窓会の会議等に提供してもらい、活動も活発化して行った。そして、この同窓会を母体に日本側と連携して1973年にタイ日経済技術振興協会〔TPA: Technological Promotion Association (Thailand-Japan)〕が誕生する。また、TPA は、その設立のプロセスで希望が出されていた大学の建設をついに実現し、

2007年にタイ日工業大学を開校している。

ABK は、近年では、2008年10月に「第2回 ABK 同窓会フォーラムーバンコク会議」（「アジアの友」472号2009.1に掲載）をタイ同窓会、TPA と共催して開催している。また、ABK の新日本語学校設立・校舎建設に当たっての募金の呼びかけにタイ同窓会はいち早く応じ、タイ国の大洪水で二度も延期になった「日本文化の夕べーアジア文化会館の一夜；ABK 新校舎募金パーティー」（「アジアの友」496号2012.4.5に掲載）を2012年3月バンコクで開催、たくさんの寄附を集めていただいている。（布施記）



タイ同窓会会長に ABK からのお祝いを手渡す  
布施常務理事（右）



左から、HIDA の金子理事長、観光スポーツ大臣  
Mrs.Kobkarn（元 AOTS 研修生）、タイ同窓会  
会長 Mrs. Somsri



35年前の ABK 同窓会研修生と



現同窓会役員たち

バンコクの泰日工業大学で活躍するスタッフ&先生によるリレーエッセイ

# 泰日工業大学 (TNI) 奮闘記

## ⑩ 手作りコマ大戦

吉田祐作

コマといえば、まず頭に浮かぶのが、ベーゴマ、正月のコマ回し…と子供の頃の記憶が頭に浮かぶ。ここ、バンコクでもルーカンといって、紐を使ってコマを回すのが子供の遊びのようだ。そんなコマが「コマ大戦」という大仰な名前で、日本で結構流行っている。勿論、子供の遊びではない。中小企業の従業員が腕によりをかけて競う手作りコマのコンペティションだ。紐は使わず、直径20mmのコマを指でひねって人の力で戦う。日本各地で予選が行われ、本場所で決勝戦が行われる。言ってみれば、ものづくりの匠の技を競う一大イベントである。

2014年11月、世界コマ大戦の第一回バンコク場所（大会）がBITECというイベント会場で開催された。世界コマ大戦の決勝が日本で開催される。それに先立ち、バンコク予選ということで、優勝、準優勝の

チームが日本で開催される決勝戦に招待される。TNI（泰日工業大学）でも日本招待を夢見て、学生・教員からなる2チームが参加した。結果として、夢は破れて、日本には行くことはできなかった。しかし、昼休み、放課後と、学生達が旋盤を使って、コマづくりを熱心にやっている普段では考

えられない様子を見られたのは、大きな収穫だった。

昨年、2015年、コマ大戦の事務局に問い合わせたところ、世界コマ大戦は、数年に一度開催されるので、今年、バンコク場所は行わないと



いうことだった。せっかく学生達が（教員も含めてだが）張り切って、コマづくりのものづくりに興味を持ってきたのに、このままでは振出しに戻ってしまう。ということで、担当教員と相談し、TNI場所を提案し、工学部主催で開催することになった。優勝賞金、3,000円も奮発してもらえ

になった。スポンサーから、ノギスの賞品も提供された。

そして11月11日、TNI 場所が開催された。教員がテキパキと指示をだす。学生達は素直に指示に従う。会場のデザイン設定から、受付、進行、運営の手際の良さには驚くばかりだった。私の予測をはるかに超えていたのだ。そして TNI 及び周辺校からの参加を得て14

チームが技を競った。コマ大戦バンコク支部の幹事会社の協力も得て、競技準備やルール理解なども身に付けることができた。

次はどうしよう。今年、2016年8月の TNI デー（オープンキャンパス）場所もいいかなー、うまく“コマ大戦-ものづくり”がバンコクでも定着するといいなーと思っている。



吉田祐作（よしだ・ゆうさく）工学博士。JICAのシニア海外ボランティア（工作機械&自動車工学指導）として、泰日工業大学工学部で車づくりやプラスチック射出成形技術などを2013年から指導している。日本では、定年まで JARI（日本自動車研究所）でエンジン開発に従事。TNI 赴任以前はラチャパット・ウドンタニー大学で3年間指導経験を持つ。

# 留学生活は勇気を持って

ファンフォン ワラリー (ヌン) ~タイ  
Ms. FUANGTHONG Warali (Nung)

東京工芸大学芸術学部写真学科2年生

## 高校からの日本留学

私は中学生の時、雑誌などから日本の女の子のファッションに興味を持って、日本に行って見たいと思っていました。日本への留学を真面目に考えたのは中学を卒業する頃でしたが、タイにい

ても高校では寮に入る予定だったので、親元を離れることに不安はありませんでした。高校はタイの留学エージェントを通じて探し、高知県の明德義塾高校に入りました。東京や大阪でなければ嫌だとか、そういうこだわりはなかったんですね。学校は街から離れた山の中にありますが、寮は学校の敷地内にあり通学は便利でした。全ての留学生はもちろん、遠方から来ている人や体育部の人はみな

寮に入りました。

寮の生活は朝早く、6時の朝礼から始まります。当番で朝食の配膳係になる時は、朝礼の前に準備をしなければい



けないので、4時に起きていました。でも、毎日やらなければならない事がたくさんあって、何時に起きても時間が足りないくらいでしたか

ら、早起きが大変だとは思わなかったんですね。

高校に入って、タイ人と日本人が一番違うと思ったところは時間やルールに対する考え方です。日本人はしっかりとルールを守り、時間にも厳しい。子どもの頃からそれがしっかり身に付いているといった感じでした。もちろんそれに慣れるまでいろいろ大変なことはありましたが、全てが勉強だと思っていたせいか、帰りたいとか苦しいとは思いませんでした。

むしろ楽しいことがたくさんあって、文化祭をクラスメートと一緒に成功させたことや、友達と思い切り遊んだことなど思い出はたくさんあります。

日本で高校生活を送ってみて、自分は成長した、考



高校でクラスメートと



高校の体育祭で

え方が大人になったと感じました。

## 写真の道へ

写真は高校生の時にも撮っていたのですが、私の作品を見た友人に大学での写真専攻を勧められたんです。それで面白そうだな、やってみたいと思ったんですね。

今の大学（東京工芸大学）を選んだのは、元々写真の専門学校だったからです。写真について強い、自分の学びたいという欲求にきっと応えてくれると思い入学を決めました。

大学での勉強は今でも大判カメラやモノクロフィルムを使って、暗室現像から学び始め、それからデジタルに移行していきます。作品（プリント）作りはフィルムでもデジタルでも構わないの

ですが、私自身はカラーフィルムのトーンや色合いが好きで作品を作る時はいつもフィルムを利用しています。

その作品作りで気をつけていることは、他の人が見て「こんな感じの写真があるんだ!」「こんな撮り方があるんだ!」と思ってもらえるような写真を撮ることです。自分らしさを出すことで、他の人がすぐに「これはヌンさんが撮った写真だ」とわかるような作品作りを目指しています。

以前、友達2人がFacebookのプロフィールに使う写真を撮ったのですが、その写真を見た別の人から「君たちの写真は同じカメラマンが撮ったんでしょ?」と言われたそうなんです。それを聞いた時は、自分らしさが育っていることを実感できて嬉しかったですね。

ただし写真を専門に学んでいると、時々撮影の時、自由がないと感じることはあります。学んだ理論やテクニックを使わないといけなというプレッシャーが常にどこかにあるんですね。

## 満足の大学生活

大学での勉強は日々充実していて楽しいのですが、難しいのはやはり日本語です。特に写真の専門用語はいつもすんなり理解できず苦労しています。

そのほか、授業や施設、クラスメートなど、大学にはとても満足しています。写真のことを奥深く学べるところ、そのための備品が揃っているところは本当に素晴らしい。ほかの大学では、もう大判カメラは学ばないということもありますし、備品もこれが



大学で所属するコスプレサークルで（左2人目）



ヌンさんの作品『デートだ！』

ないとかあれないという話を聞くのですが、私の学校は全てが揃っている。また、先生と学生の距離が近くて、いつでも何でも聞けるのも良いところですよ。

教材はもちろん全て日本語ですが、友達が助けてくれるので乗り切れています。ですから友達によく「留学生は大変じゃないの？」って聞かれるのですが、私は特別、留学生生活が大変だと思ったことはないですね。

日本は写真分野の情報がとても多く、海外の情報、作家の写真もいろいろと見て学べます。ですから日本で写真を専攻して本当に良かったと思っています。

また日本の生活も気に入っています。電車はどんな所に行くのも便利だし、時間も正確で本当に感心します。また料理はどこのお店に入っても

すごく美味しいですよ。

一方で日本の生活で不満を感じるのには部屋探しです。私は2回部屋を探しているのですが、最初から「外国人お断り」というアパートも多く、見つかっても高い部屋しかなかったり、そこは厳しいなあと感じます。正直、日本政府は留学生を増やしたいと考えているのに、こんな現状でいいのかなあと思いますね。

もちろん日本人の中には外国人が嫌いな人もいますし、文化も違うので時々戸惑うこともあります。でも全て経験、勉強だと思っていると不思議と嫌にはならないですね。

### 将来の夢とメッセージ

タイでカメラマンという職業はまだまだ専門職としては見られていません。ですから大学卒業後は日本で

カメラマンかレタッチャーとして活躍したいと思っています。被写体はファッションや、ライブ、俳優や声優さんを撮りたいですね。

日本の商業写真は、料理やスポーツ、動物といったように専門性が確立されていますよね。だからもし人を撮れなかったら料理でも動物でもいい。その分野のエキスパートになりたいと思っています。とにかく今は写真が学べる毎日が楽しいです。

最後に日本で留学生生活を楽しく送る上で大切なことですが、それは“勇気”だと思います。勇気を出さないと、楽しさには出会えない。勇気を出せば、たくさん友達と出会えるし、様々な良い経験が出来る。勇気は本当に大切ななあと思っています。



## 奨学金情報

※ 奨学金情報は Japan Study Support のホームページよりご覧いただけます (<http://www.jpss.jp/ja/>)

### ■ 青峰奨学財団 青峰奨学金

● **対象**：①韓国籍を有し、日本の大学2年生以上<sup>いじょう</sup>に在学<sup>ざいがく</sup>する者<sup>もの</sup>で、成績<sup>せいせき</sup>優秀<sup>ゆうしゅう</sup>、品行<sup>ひんこう</sup>方正<sup>ほうせい</sup>であり、かつ<sup>かつ</sup>学業<sup>がくぎょう</sup>を成就<sup>じょうじゆ</sup>するために経済的<sup>けいざいてき</sup>援助<sup>えんじよ</sup>を必要<sup>ひつよう</sup>とする者。②他の奨学金<sup>じやうがくきん</sup>を受けていない者。

[注1] 日本の大学<sup>にほんだいがく</sup>に在学<sup>ざいがく</sup>する者<sup>もの</sup>とは、日本の大学<sup>にほんだいがく</sup>で授業<sup>じゆぎょう</sup>を受けている者<sup>もの</sup>を意味<sup>いみ</sup>し、日本の大学<sup>にほんだいがく</sup>に在籍<sup>ざいせき</sup>しながら海外<sup>かいがい</sup>に留学<sup>りゅうがく</sup>や研究<sup>けんきゆう</sup>のため<sup>ため</sup>に長期間<sup>ちやうきかん</sup>に滞在<sup>たざい</sup>する方は、応募資格<sup>おうえんしきかく</sup>対象外<sup>たいがい</sup>となります。

[注2] 9月<sup>がつにゆうがくせい</sup>入学生<sup>しがつ</sup>も4月<sup>ざんがつ</sup>から3月<sup>きゆうぶ</sup>までの給付<sup>きゅうふ</sup>となります。

● **支給金額**：大学学部<sup>しきゆうきんがく</sup>奨学生<sup>だいがくがくぶしょうがくせい</sup>：月額<sup>げつがく</sup>5万円<sup>まんえん</sup>  
大学院<sup>だいがくいん</sup>奨学生<sup>しょうがくせい</sup>：月額<sup>げつがく</sup>70,000円<sup>えん</sup>

● **支給期間**：最長<sup>さいちやう</sup>2年<sup>ねん</sup>まで（審査<sup>しんさ</sup>により延長<sup>えんちやう</sup>も可<sup>か</sup>）

● **採用人数**：10名<sup>めい</sup>

● **応募方法**：実施団体<sup>おうえんほうほう</sup>に直接<sup>じっしだんたい</sup>申し込<sup>ちやくせつもうこ</sup>む

● **募集期間**：2016年4月11日～4月25日（当日消印<sup>ほしゅうまかん</sup>有効<sup>とうきよう</sup>）

● **実施団体・問合せ先**：〒101-0052 東京<sup>とうきよう</sup>都千代田区<sup>とちよだく</sup>神田<sup>かんだ</sup>小川町<sup>おがわちやう</sup>1-6 新福神ビル<sup>しんふくがみ</sup>10階<sup>かい</sup>  
いっばんざいだんほうしん せいほうしょうがくざいだん  
一般財団法人 青峰奨学財団

E-mail: [iinfo@seihou.org](mailto:iinfo@seihou.org)

URL <http://www.seihou.org/index.html>

### ■ 東京 YWCA 「留学生の母親」運動奨学金

● **対象**：大学学部<sup>だいがくがくぶ</sup>・短期大学<sup>たんきだいがく</sup>・専門学校<sup>せんもんがっこう</sup>の1、2年生<sup>ねんせい</sup>で、次のすべての条件<sup>じょうけん</sup>を満た<sup>み</sup>す留学生<sup>りゅうがくせい</sup>。

① 留学<sup>りゅうがく</sup>の在留資格<sup>ざいりゅうしきかく</sup>を有<sup>ゆう</sup>する私費<sup>しひ</sup>留学生<sup>りゅうがくせい</sup>

② 日本の大学<sup>にほんだいがく</sup>（学部）1・2年生<sup>ねんせい</sup>、短期大学<sup>たんきだいがく</sup>1・

2年生<sup>ねんせい</sup>、専門学校<sup>せんもんがっこう</sup>1・2年生<sup>ねんせい</sup>

\* 専門学校<sup>せんもんがっこう</sup>は、日本語教育課程<sup>にほんごきょういくかてい</sup>に在籍<sup>ざいせき</sup>する学生<sup>がくせい</sup>は除<sup>ぞ</sup>く

(3) 面接<sup>めんせつ</sup>および東京 YWCA<sup>とうきよう</sup>での年3回<sup>ねん かい ほうこく</sup>の報告<sup>ほうこく</sup>会<sup>かい</sup>に出席<sup>しゅつせき</sup>できること

(4) 年間総額<sup>ねんかんそうがく</sup>360,000円<sup>えん</sup>を超える他の奨学金<sup>たしやうがくきん</sup>

またはそれに類するものを受けていないこと

●支給金額：月額 30,000 円

●支給期間：2016年4月～2017年3月

●採用人数：5名程度

●応募方法：実施団体に直接申し込む

●募集期間：2016年5月5日（木）から5月17日（火）（当日消印有効）

●実施団体・問合せ先：東京YWCA「留学生の母親」運動事務局 奨学金小委員会

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-8-11 Tel 03-3293-5424

<http://www.tokyo.ywca.or.jp/peace/ryugakusei/>

## ■ ドコモ留学生奨学金（JEES 冠奨学金）

●対象：① 2016年4月入学者（10月入学者は不可）で、日本国内の大学（以下「大学」という。）に設置されている大学院の修士課程（博士前期課程）1年次に正規生として在籍する私費

外国人留学生。また在留資格は「留学」であること。なお、日本国内の大学は、寄付者と協議の上選定した指定校制とする。

②下記の1または2の部門を専攻する者。

1 通信技術、情報処理技術及びこれに関連する部門を専攻する者。

2 人文・社会科学等の部門を専攻する者で、研究に「通信や情報処理」が活用されると大学が認める者。

3（注）2を専攻する者は願書の「留学計画（2）大学院在籍中の研究概要」の欄に研究手法としての通信や情報処理活用の方を明記すること。

③ インド、インドネシア、韓国、カンボジア、シンガポール、スリランカ、タイ、台湾、中国（香港、マカオを含む）、ネパール、パキスタン、バングラデシュ、東ティモール、フィリピン、ブータン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、モルディブ、モンゴル、ラオスのい

ずれかの国・地域からの留学生。

④ 本奨学金の支給期間中、他の奨学金を受ける予定のない者〔貸与型（返済が必要なもの）奨学金、学費免除及び一時金は除く〕。

⑤ 留学の目的及び計画が明確で、修学効果が期待できる者。

⑥ 真に経済的援助を必要とする者。

⑦ 心身共に健康であり、かつ品行方正で学業成績が優秀な者。

⑧ 日本語でのコミュニケーションが可能な者（日本語で研究発表が出来る程度）。

⑨ 卒業後は、日本の通信関連企業に就職を希望し、日本と母国の情報通信分野の発展に貢献する意欲がある者。

⑩ 在籍大学の長の推薦を受けることができる者。

●支給金額：月額 120,000 円

●支給期間：2016年4月より2018年3月までの2年間（ただし、大学における在籍期間中に限る。）

●採用人数：20名程度

●応募方法：在籍大学を通じて申し込む

●応募締め切り：2016年5月13日（金）必着

●**応募・問合せ先**：公益財団法人 日本国際教育

支援協会 事業部 国際交流課 〒153-8503

東京都目黒区駒場 4-5-29

Tel 03-5454-5274

Fax 03-5454-5242

E-mail ix@jees.or.jp

<http://www.jees.or.jp/sc-scholarship/index.htm>

はしやしょうがくかいしょうがくきん  
**■ 橋谷奨学会奨学金**

●**対象**：①専門学校（ただし1年以上の専門課程）、大学または大学院（研究生含む）に在学

または入学を許可された私費留学生。②インドネシア共和国籍を有し、修学または研究のため student visa で来日している者。③インドネシア共和国大使館に来日の報告をしている

者。（領事館のみの届出は不可）④日本政府等、他財団から奨学金を受けていない者。⑤年1回の交流親睦会に参加できる者。（毎年9～10

月頃開催）⑥奨学金支給終了後も当会との通信等を継続する意思のある者。

●**支給金額**：月額100,000円

●**支給期間**：支給開始月から学校を卒業・修了するまで

●**採用人数**：若干名

●**応募方法**：学校を通じて申し込み

●**応募締切り**：4月28日（必着）

●**問合せ先**：在学校担当窓口

●**実施団体**：公益財団法人 橋谷奨学会

〒134-0084 東京都江戸川区東葛西 3-17

Tel 03-3689-1120

E-mail hashiya-scholarship@tsukishima.co.jp

Photo Letter

元日本留学生・ABK関係者の春節の集り  
 (2016年2月14日、マレーシア・クアラルンプール)



# MEMBERS

〈会費とご寄附の報告〉

## 2015年12月

### 特別会員

日本シグマックス(株) 新宿区

### 賛助会員

佃 吉一 板橋区

### 正会員

(2口)

榊 正義 港区

(1口)

山田 裕子 三鷹市

北林 保之 中川郡

川口 善行 大田区

鶴尾 能子 横浜市

福本 一 船橋市

池野 朋彦/晶子 横浜市

田中 洋一 柏市

米林 太久実 品川区

野村 美知子 佐倉市

中島 正喜 川崎市

高橋 雄造 杉並区

新田 宜子 西東京市

勝山 桂香 千葉市

牧野 政子 宝飯郡

菅谷 真人 千葉市

高柳 直正 北区

富永 昭太郎 町田市

古川 恵世 我孫子市

真利子 知之 中野区

伊藤 順 安曇野市

伊藤 源之 東久留米市

瀬尾 兼秀 北区

石渡 荘介 足立区

細川 哲士 八王子市

土屋 元子 千葉市

土居 征夫  
工藤 博司  
堤 祐子  
工藤 幹雄  
香月 恵美子

松岡 弘  
大益 牧雄  
寺門 克郎  
菊池 幸子  
福 壤二

杉浦 貴和子  
堀 香奈美  
小川 輝夫  
A.W.  
倉内 憲孝

(有)ブルミエ-ACA  
西田 祥子  
鈴木 秀明  
金野 隆光  
浜崎 長寿/和子

井上 駿  
池田 俊二  
小林 浩  
(株)デリー

### ご寄附

山田 裕子  
西本 梶  
田中 洋一  
大越 英男  
山崎 光郎  
稲垣 史  
土屋 元子  
太田 京子  
榊 正義  
工藤 幹雄  
岡崎 道子  
東京第一友の会  
金野 隆光  
酒井 杏郎

世田谷区  
酒田市  
江東区  
文京区  
川西市  
相模原市  
京丹後市  
習志野市  
笠間市  
横須賀市  
港区  
横浜市  
上尾市  
横浜市  
池田市  
松戸市  
安城市  
豊橋市  
柏市  
堺市  
平塚市  
横浜市  
松戸市  
文京区

## 2016年1月

### 特別会員

張 瑞騰 台湾

### 正会員

(1口)

久保 亨 文京区

高道 俊彦 富山市

田中 千佳子 江東区

大友 恭子 横浜市

中曾根 信 中標津町

安藤 哲生 国分寺市

清水 国夫 中郡

中原 和夫 那覇市

池森 亨介 宇都宮市

松崎 松平 世田谷区

北星学園大学国際交流センター

札幌市

今泉 雅勝 墨田区

### ご寄附

仁木 美代子 文京区  
築山 淳子 文京区  
栗原 静子 気仙沼市  
中原 和夫 那覇市

皆様の暖かい御支援に感謝申し上げます

## ご入会とご寄付のお願い

当協会は、政府の補助金を受けていない純民間運営の公益法人ですので、財源に限りがあり、皆様方からお送りいただく会費、寄付金は、本協会の活動を支える貴重な財源となっています。何卒ご理解、ご協力をお願い致します。

## 協会のあらまし

名称：公益財団法人アジア学生文化協会  
ASIAN STUDENTS CULTURAL ASSOCIATION  
(ASCA)

所在地：東京都文京区本駒込2丁目12番地13号

代表者：理事長 小木曾 友

設立：1957年(昭和32年)9月18日  
故穂積五一氏創設

目的：日本とアジア諸国の青年学生が共同生活を通じて、人間的和合と学術、文化および経済の交流をはかることにより、アジアの親善と世界の平和に貢献することを目的とする。

## ◆主な事業◆

- (1) 留学生宿舍の運営
- (2) 留学生日本語コースの運営(進学希望者向けの日本語を中心とする教育)
- (3) 留学生に対する情報提供支援
- (4) アジア語学セミナー
- (5) 帰国留学生のアジア文化会館同窓会、(社)日・タイ経済協力協会、ABK留学生友の会との連携・協力

## ◆会費(年額)◆

正会員 1口 1万円  
賛助会員 1口 5万円  
特別会員 1口 10万円

会員には広報誌「アジアの友」が無料配布されます。また、広報誌購入だけを希望される方には、購読料年間3千円(十税)でお送りいたします。

当財団に対する寄附金は、所得税、一部自治体の個人住民税、相続税、及び法人税の税制上の優遇措置があります。

2015年度より購読料に別途消費税を負担いただくことになりました。何卒ご了承下さい。

おかげさまで、当財団は2014年4月1日に公益財団法人に移行しました。これまでご支援いただきました皆様には大変ご迷惑をおかけしておりましたが、これにより会費並びに寄附金は税制上の優遇措置の対象となります。今後とも、皆様のご支援の下、これまでと同様留学生宿舍の運営、留学生への情報提供、同窓会活動等の活動を通じ、アジアの青年の育成と友好親善のために微力を尽くす所存です。引き続き皆様のご支援を賜りたくよろしくお願い申し上げます。

## 後記

ABK地下ホール(旧食堂)に、光彩を放つ黒色のセミグランドピアノがこの2月に置かれた。当財団創設者穂積五一初代理事長夫人が長年使っていた記念すべきピアノである。ご遺族の希望で、ABK在館生への大変大きな贈り物である。リニューアルされ真新しく生まれ変わったピアノは、本来のピアノの歴史を全く感じさせない。近年豊かになったアジアの反映か、ABKにもピアノを弾く留学生が増えてきているので、大いに喜んでいただけ、かつ楽しんでいただけそうだ。休日のコンサートなど学生が企画してくれるのを楽しみにしている。(F)  
この2月、タイ同窓会が設立50周年記念式典を開催した。(設立年月日が少々不明瞭ではあるが、1-2年の誤差なのでよしとしたい。)いずれにせよ民間の自主的運営の団体が50年間も続くのは驚異的である。これはひとえに、タイ同窓会を母体としてきた泰日経済技術振興協会(TPA)の設立とTPAを母体としてきた泰日工業大学(TNI)への展開との関係性の中にいつも同窓会があったことが大きな要因であることは否定できないであろう。穂積先生(AOTS初代理事長、当財団創設者、ABK同窓会会長、JTECS初代理事長)がTPA設立に深くかかわり、その後自立するまでの支援、そして長期間に亘るAOTS事務所の同窓会活動への提供等に対する感謝の念は、様々な機会にタイの関係者の穂積先生に対する思いから伝わってくる。現在のタイ同窓会会員の多くは研修生で、留学生出身者の数がいかに少ない現実には気がかかるころではある。(F)

## アジアの友 2016年2-3月号

2016年3月20日発行(通刊第519号)

年間購読(送料共)3,000円+税 1部 500円+税

発行人 小木曾 友  
編集 アジアの友編集部  
発行所 公益財団法人 アジア学生文化協会  
東京都文京区本駒込2-12-13 (☎113-8642)  
電話番号：03-3946-4121 ファクシミリ：03-3946-7599  
振替口座：00150-0-56754 E-mail：tomo@abk.or.jp  
ホームページ：(http://www.abk.or.jp/)

published by ASIAN STUDENTS CULTURAL ASSOCIATION  
(ASIA BUNKA KAIKAN)

2-12-13, Honkomagome, Bunkyo-ku, Tokyo, 113-8642, JAPAN

☎+81-3-3946-4121 ☎+81-3-3946-7599

Email：tomo@abk.or.jp

Home Page：http://www.abk.or.jp/

会員並びにご購読のお申込みはメール・電話または巻末の振替用紙にてお願いいたします。

